

ネットワークストレージサーバ「HA8000/NS10 内蔵 UPS モデル」を販売開始

タワータイプの筐体内に無停電電源装置を内蔵し、容易な導入と省スペース化を実現

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、中小規模のファイル共有およびバックアップ用途向けのネットワークストレージサーバ「HA8000/NS」の新たなラインアップとして、無停電電源装置(UPS:Uninterruptible Power Supply)を内蔵した「HA8000/NS10 内蔵 UPS モデル」を追加し、本日から販売を開始します。本製品は、タワータイプのサーバ筐体内に UPS を内蔵することで、ネットワークストレージサーバと、事業継続計画(BCP:Business Continuity Plan)対応で需要の高まる UPS を同時に容易かつ省スペースで導入することを可能にします。

近年、自然災害をはじめとする、さまざまな緊急事態の発生に備え、BCP を強化する取り組みが多くの企業・団体で加速しています。IT システムについても、企業活動に不可欠なものとして、継続性を強化する動きが、大企業から中小規模の企業やオフィスまで広く拡大しています。その中で、突発的な停電や電圧低下によるデータやシステムへの影響を防ぐ対策として UPS への関心が高まっています。

一般的に UPS は、サーバをはじめとする IT 機器には組み込まれずに外付けされてきました。その際、IT 機器と UPS の接続や、管理ソフトウェアのインストール、各項目の設定など、導入・運用までのセットアップ作業は、専門技術者をもたない中小企業や小規模オフィスなどの顧客にとって、UPS の導入を難しくする要因となっています。同時に、店舗や小規模オフィスなどでは、多くの IT 機器を設置することができないため、UPS の設置場所の確保も課題となっています。

そこで日立は、今回、中小規模のファイル共有およびバックアップ用途向けのネットワークストレージサーバである「HA8000/NS10」の新たなラインアップとして、「内蔵 UPS モデル」を製品化しました。本製品は、専用の UPS 管理ソフトウェアをあらかじめインストールしており、少ない設定項目で容易に UPS の管理設定を行うことができます。また、UPS を外付けする場合と比較して、設置面積を約 32%^{*1}削減し、省スペース化を実現しました。

*1 本モデル設置時と、2011年6月発売の HA8000/NS10 および日立の販売する最小クラスの外付け UPS(750VA)を設置した際の底面積を比較した場合の日立算定値。

■「HA8000/NS10 内蔵 UPS モデル」の特長

1. UPS 管理ソフトウェアのプレインストールにより、容易な運用管理を実現

本製品用に最適化された専用の UPS 管理ソフトウェアをあらかじめインストールしてあり、さらに、管理ソフトウェアの標準設定値が入力済みであるため、容易に UPS 機能を使用することができます。本製品用の UPS 管理ソフトウェアは、停電発生時のシステム保護設定や、電源オン/オフのスケジュール運転設定などを、シンプルな画面表示で設定可能なため、情報システム管理部門を設置していない小規模な企業や、システム管理者が不在の支社・営業所などのオフィスでも、容易に UPS の運用管理を行うことができます。

2. 省スペース化の実現

「HA8000/NS10」に UPS を別途外付けした場合と比較して、設置スペースを約 32%^{*1}削減することができます。店舗や小規模オフィスなど、IT 機器の設置場所が広く取れない環境での導入や、オフィスの省スペース化などのニーズに対応します。

3. ファイル書き込み性能が約 3～5 倍に向上

UPS を内蔵していることにより、内蔵している RAID^{*2}コントローラのライトキャッシュ^{*3}設定を常時オンに設定することができます。これにより、ライトキャッシュ設定をオフに設定した場合と比較して、ファイル書き込み性能がファイル共有用途時で約 5 倍^{*4}、バックアップ用途時で約 3 倍^{*4}に向上しました。

^{*2} RAID(Redundant Array of Inexpensive Disks) : 複数のハードディスクドライブを組み合わせ、データを分散・冗長化し、記録することで、システムの性能・耐障害性を向上することができる技術。

^{*3} ライトキャッシュ:ライトバックに使用されるキャッシュメモリ。ライトバックとは、記憶装置にデータを書き出す際に、一度キャッシュメモリにデータを書き出し、処理の空き時間ができてから記憶装置にデータを書き出すこと。

^{*4} 記憶装置の性能測定のパベンチマークツール「Iometer」を使用し、条件を「スレッド数:1、ターゲットサイズ:10GB、アクセス単位:1MB」と設定して、2011年6月発売の HA8000/NS10 と内蔵 UPS モデルを比較した場合の日立実測値。

■「HA8000/NS10 内蔵 UPS モデル」の価格と出荷開始時期

モデル名	インストール OS	外形寸法	価格	出荷開始時期
HA8000/NS10 内蔵 UPS モデル	Microsoft® Windows® Storage Server 2008 R2 Standard	176(W)×475(D)×396(H)mm [突起部 ^{*5} 除く] 176(W)×482(D)×398(H)mm [突起部 ^{*5} 含む]	449,400 円～ (税抜 428,000 円～)	2011 年 12 月 28 日

^{*5} 底面足、サイドカバー固定ネジなど。

■本製品に関するホームページ

日立アドバンストサーバ「HA8000 シリーズ」

<http://www.hitachi.co.jp/ha8000/>

■他社商標注記

- ・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■本製品に関するお問い合わせ先

HCA センター

電話:0120-2580-12 (利用時間 9:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日を除く))

以上

【補足資料】

■「HA8000/NS」ラインアップ一覧

	省スペース重視	容量・拡張性重視
<p>拠点分散配置 部門別ファイルサーバ志向</p>	<p>HA8000/NS10s デスク上に設置できるスリムサイズのタワータイプ</p>  <p>1 プロセッサー スリム</p>	<p>HA8000/NS10 オフィス設置にも対応したタワータイプ</p>  <p>内蔵 UPS モデル追加 1 プロセッサー 静音性 コンパクト</p>
<p>センター集約配置 ファイルサーバ統合・集中管理志向</p>	<p>HA8000/NS110 省スペース大容量の1U ラックタイプ</p>  <p>1 プロセッサー 省スペース</p>	<p>HA8000/NS220 必要に応じてディスク容量の拡張も可能な 2U ラックタイプ</p>  <p>2 プロセッサー 拡張性 耐障害性</p>

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
